

平成26年度湖西市ごみ減量市民会議の意見集計表

資料7

会議	委員	意見	詳細内容	今後の対策等	2015.6月現在の状況
第1回	杉浦	生ごみ減量講習会が3分の1になっている。	講習会の回数が減っている。	自治会や各種団体等に開催依頼をします。	すべての自治会長宅を訪問し、27年度開催を依頼した。
	田代	外国人向けの説明がない。外国人向けの説明会が無い。	外国人向けの説明会を開催したらどうか。	国際交流協会等に開催依頼をします。	依頼中
	大谷	ごみ処理経費の見える化してほしい。	会社では、お金に換算している。みなさんの努力でこれだけ減ったよとの広報したらどうか。	広報紙や説明会等で周知します。	市民会議の資料は、会議後にホームページへ掲載した。また、ホームページにごみ処理の状況の項目を追加掲載。
	高部	ごみ量等の見える化によって、もっと減らそう、こんな所が減らせるよとアイデアが出る。	社内のホームページに可燃ごみ、不燃ごみ、金属が何トンでるか掲載している。	広報紙や説明会等で周知し、市民からの意見を聴取します。	同上
	平井	古紙回収ステーションや古紙回収拠点の場所が周知されていない。	知らない人が人が多い。	ごみ資源物の出し方のガイドブックを作成し、27年3月に全世帯配付します。広報紙にも掲載します。(市のホームページとごみカレンダーには掲載済)	ごみカレンダーとガイドブックを平成27年3月2日に全世帯に配付した。
	豊田	ごみ減量は節約に繋がって良いことがあることを意識するとごみは少なくなる。	市民がごみ減量の効果を理解していない。	ごみ減量が効果があることは、広報紙や説明会で周知しまして、市民意識を高めます。	説明会で効果について説明するようにしました。
	豊田	インクカートリッジ回収を知らなかった。	市民への周知不足	広報紙や説明会等で周知します。(市のホームページには掲載済)	説明会でも、説明するようにしました。
	杉浦	1年間のごみ処理経費とか、地区毎の状況を市民に提供してほしい。		市民会議で資料を配布しましたので、その内容を市のホームページに掲載しました。今後も広報紙や説明会で周知していきます。	市のホームページに掲載。
	杉浦	キエーロを普及したい。		広報紙、イベント、説明会でキエーロの良さを積極的にPRします。	各種イベントや説明会では、キエーロを中心に説明した。ロコミ効果で、1人で環境センターに取りに行く人が増えた。
第2回	田代	ステーション等の看板等は、ポルトガル語の説明を書いてほしい。	日本語しか書いていない看板がある。	今後、作成する看板は、ポルトガル語等の外国語を表記します。	・収集曜日等の看板は、ポルトガル語を表記した新しいものに貼り変え中。 ・持ち去り防止の看板を作成したが、日本語以外にポルトガル語、スペイン語、英語、中国語も表記し、貼り変え中。
	杉浦	看板がいろいろあるが、訳の分からない看板がある。	看板の作成方法が、標準化されていない。	看板の作成方法を統一化し、分かりやすい看板にします。	看板作成の統一化を図り、分かりやすい看板を作成するようにしました。
	平井	外国人に対してだめだめというのではなく、どうしたらの部分の説明が必要	理由を細かく説明して理解させることが必要。	外国人に説明するときは、理由を説明して理解に努めます。	説明会で、ごみステーション等で声掛けをしていただくよう依頼しました。
	杉浦	外国人に対して書いて貼るだけでなく、地道に口で説明が必要	市民も外国人に声をかけて説明する。	説明会等で外国人に声掛けをしていただくよう依頼していきます。	ブラマール品の分別など市内ブラジル食料品店に関係者が説明→分別の効果あり
	大谷	田原市では、ヒーローの着ぐるみを着て、保育園を回っている。子どもの教育が必要	子どもの教育は、親や祖父母に効果がある。	子どもや高齢者対象の説明会を開催するように関係団体に開催依頼をします。	児童・学生配布用新報紙袋を作成検討中(家庭使用)
	田内	若い独身や老人は、配付物はほとんど読まない。	直接、説明しないと理解しない。	説明会等で、ごみ出しの時に声掛けをしていただくよう依頼します。	説明会で、ごみステーション等で声掛けをしていただくよう依頼しました。
	田中	今年のあらいじゃんに出展していないため、出展してほしい。		10月26日開催のあらいじゃんに出展しました。今後も出展します。	あらいじゃんに出展しました。27年度も出展します。
	杉浦	市職員から意識を変えて。家庭に戻っても、その気持ちを家庭に持って行く。	市役所のごみ箱を見ると、資源になる紙が入っている。	資源化推進のため、職員意識を高めます。	庁内メールにて周知
	豊田	女性をターゲットにした対策が必要	分別の多くは、女性が携わっている。	イベントへの出展やスーパー等での啓発等を積極的に推進します。	スーパー等での雑誌袋の配布
	杉浦	外国人は、ちょっと声掛けて、面倒を見てやると良い。	市民も外国人に声をかけて説明する。	説明会等で外国人に声掛けをしていただくよう依頼していきます。	説明会で、ごみステーション等で声掛けをしていただくよう依頼しました。
	杉浦	対策は、市が考え市民に投げ掛けが必要である。	市民に対してごみ減量の投げ掛けが必要である。	広報紙への掲載や説明会等で説明しまして、市民にごみ減量を投げ掛けます。	今まで以上に、ごみ減量について詳しく説明しました。
	豊田	布おむつの普及をしたらどうか。	紙おむつは、かさばり重い。	広報紙の掲載や説明会等で説明します。	育児方針・働き方の変化もあり…。
第3回	山口	広報紙は、多くの事を掲載するのではなく、毎回テーマを決めて1個ずつ掲載したらどうか。	いろいろな事を掲載すると市民は見てくれない。	1つのテーマに絞って広報紙へ掲載します。	1つのテーマに絞って掲載するようにしました。
	山口	看板などの表示の仕方を標準化したものに工夫してほしい。	看板の作り方が、バラバラで分かりにくい。分別の仕方ももっと分かりやすいものにしてほしい。	看板の作成方法を統一化し、分かりやすい看板にします。	看板作成の統一化を図り、分かりやすい看板を作成するようにしました。
	山口	排出ルール徹底のため、研究会みたいなものを作ったらどうか。	みんなで話しあったら、良いものができる。	ごみ減量市民会議の議題にしまして、意見を出し合い、市民目線で作成します。	今後の議題として検討。
	山下	ルール違反のごみは、赤いバツのようなものを付けたらどうか。	ルール違反を分かりやすく。	ルール違反シールを新しいもの変更します。	ルール違反の新しいシールを作成しました。
	高部	ごみステーションは、なるべく対象件数が少ない小さなステーションが良い。大きいとルール違反が多い。	大きいごみステーションは、ルールを守らない人が多い。	大きなごみステーションは、自治会に提案しまして、細分化を推進します。	自治会からはGW・年末年始ゴミあふれ防止のためにごみ籠を大きくしてほしいとの要望多し。
	大谷	ごみの分別など分からないことがあったら、広報紙やホームページなど、いろいろなパリエーションが必要	多種多様な方法で、ごみの分別方法が分かるようにしたらどうか。	ごみ資源物の出し方のガイドブックを作成し、27年3月に全世帯配付します。広報紙やホームページにも掲載します。	平成27年3月2日に全世帯に配付した。市のホームページは、3月4日に掲載しました。
	大谷	小型家電回収は、積極的にやってほしい。		平成27年1月6日より市内8箇所に小型家電回収ボックスを設置し、回収します。広報紙やイベントでもPRします。	平成27年1月6日より市内8箇所に小型家電回収ボックスを設置しました。説明会やイベントでもPRしました。
	豊田	おしゃれなキエーロを作成したり、フォトコンテストを実施したらどうか。	若い人が飛びつくようなものにしてほしい。現在のものは、おしゃれではない。	よりキエーロを魅力的にするため、フォトコンテスト開催を検討します。	
	豊田	ごみ袋に名前を書いたらどうか	他市でもやっているため、検討したらどうか。	他市の状況を調査し検討します。	市外からの流入防止対応後、マナーが守れないようであれば今後可能性も…。
	牧野	剪定枝の回収回数を増やしてほしい。	剪定枝や草木の多い時期のみ回収回数を増やしてほしい。	多くのステーションでは、剪定枝等は、それほど多くないため、現行どおりで実施します。	変更なしで。
	田代	環境センターでごみに関係する新聞を作成してほしい。		広報紙等で積極的にPRしていきます。定期的に特集を組んで掲載します。	広報紙やホームページ中心に広報していきます。
	近藤	資源ごみの売却益が出たら、自治会や子ども会に補填してほしい。	自治会は、ごみステーション等の借地代がかかる。維持管理の人のために、自治会のお金を管理員に支払っている地区もある。集団回収は、以前の4割となっているため、市で補填してほしい。古紙回収拠点や民間のホームセンターでの回収があるため、子ども会等の回収量が減っている。	飲料水缶のアルミ缶は、高い値段で売却できることから、アルミ缶回収等を実施していただくよう依頼します。	新報紙回収袋の作成に充当するなど財源還元を努めます。
	田内	子ども会の集団回収の回収量が減ったため、活動費がなくなり、市の方で補填してほしいのは、別の機関で検討していただく方が良い。	ごみに対して言うのは筋が違うのではない。	子ども会から、正式に要望があれば、担当課との調整します。	
	山口	ごみ減量の目標を明確化してほしい。広報紙という市民に対して目標を載せたり、結果も掲載する。	ごみ減量の目標、減量方法の紹介、減った理由や結果を広報する。見える化をして、市民に関心を持っていただくことが必要である。結果が良かったら市民を誉めてほしい。ごみの情報が少ない。数値を公表してほしい。	広報紙や説明会等で公表します。ごみが減ったり増えたり、問題等起こった場合など、随時、広報紙等で情報発信します。	ホームページにごみ処理の状況の項目を追加掲載。ホームページに、今後、ごみ減量目標や減量方法、減量結果などの情報を掲載します。

## 平成26年度湖西市ごみ減量市民会議の意見集計表

会議	委員	意見	詳細内容	今後の対策等
第1回	杉浦	生ごみ減量講習会が3分の1になっている。	講習会の回数が減っている。	自治会や各種団体等に開催依頼をします。
	田代	外国人向けの説明がない。外国人向けの説明会が無い。	外国人向けの説明会を開催したらどうか。	国際交流協会等に開催依頼をします。
	大谷	ごみ処理経費の見える化してほしい。	会社では、お金に換算している。みなさんの努力でこれだけ減ったよとの広報したらどうか。	広報紙や説明会等で周知します。
	高部	ごみ量等の見える化によって、もっと減らそう、こんな所が減らせるよとアイデアが出る。	社内のホームページに可燃ごみ、不燃ごみ、金属が何トンでるか掲載している。	広報紙や説明会等で周知し、市民からの意見を聴取します。
	平井	古紙回収ステーションや古紙回収拠点の場所が周知されていない。	知らない人が人が多い。	ごみ資源物の出し方のガイドブックを作成し、27年3月に全世帯配付します。広報紙にも掲載します。(市のホームページとごみカレンダーには掲載済)
	豊田	ごみ減量は節約に繋がって良いことがあることを意識するとごみは少なくなる。	市民がごみ減量の効果を理解していない。	ごみ減量が効果があることは、広報紙や説明会で周知しまして、市民意識を高めます。
	豊田	インクカートリッジ回収を知らなかった。	市民への周知不足	広報紙や説明会等で周知します。(市のホームページには掲載済)
	杉浦	1年間のごみ処理経費とか、地区毎の状況を市民に提供してほしい。		市民会議で資料を配布しましたので、その内容を市のホームページに掲載しました。今後も広報紙や説明会で周知していきます。
	杉浦	キエーロを普及したい。		広報紙、イベント、説明会でキエーロの良さを積極的にPRします。
第2回	田代	ステーション等の看板等は、ポルトガル語の説明を書いてほしい。	日本語しか書いていない看板がある。	今後、作成する看板は、ポルトガル語等の外国語を表記します。
	杉浦	看板がいろいろあるが、訳の分からない看板がある。	看板の作成方法が、標準化されていない。	看板の作成方法を統一化し、分かりやすい看板にします。
	平井	外国人に対してだめだめというのではなく、どうしたらの部分の説明が必要	理由を細かく説明して理解させることが必要。	外国人に説明するときは、理由を説明して理解に努めます。
	杉浦	外国人に対して書いて貼るだけでなく、地道に口で説明が必要	市民も外国人に声かけして説明する。	説明会等で外国人に声掛けをしていただくよう依頼していきます。
	大谷	田原市では、ヒーローの着ぐるみを着て、保育園を回っている。子どもの教育が必要	子どもの教育は、親や祖父母に効果がある。	子どもや高齢者対象の説明会を開催するように関係団体に開催依頼をします。
	田内	若い独身や老人は、配付物はほとんど読まない。	直接、説明しないと理解しない。	説明会等で、ごみ出しの時に声掛けをしていただくよう依頼します。
	田中	今年のあらいじゃんに出展していないため、出展してほしい。		10月26日開催のあらいじゃんに出展しました。今後も出展します。
	杉浦	市職員から意識を変えて。家庭に戻っても、その気持ちを家庭に持って行く。	市役所のごみ箱を見ると、資源になる紙が入っている。	資源化推進のため、職員意識を高めます。
	豊田	女性をターゲットにした対策が必要	分別の多くは、女性が携わっている。	イベントへの出展やスーパー等での啓発等を積極的に推進します。
	杉浦	外国人は、ちょっと声掛けして、面倒を見てやると良い。	市民も外国人に声かけして説明する。	説明会等で外国人に声掛けをしていただくよう依頼していきます。
	杉浦	対策は、市が考え市民に投げ掛けが必要である。	市民に対してごみ減量の投げ掛けが必要である。	広報紙への掲載や説明会等で説明しまして、市民にごみ減量を投げ掛けます。
	豊田	布おむつの普及をしたらどうか。	紙おむつは、かさばり重い。	広報紙の掲載や説明会等で説明します。
第3回	山口	広報紙は、多くの事を掲載するのではなく、毎回テーマを決めて1個ずつ掲載したらどうか。	いろいろな事を掲載すると市民は見てくれない。	1つのテーマに絞って広報紙へ掲載します。
	山口	看板などの表示の仕方を標準化したものに工夫してほしい。	看板の作り方が、バラバラで分かりにくい。分別の仕方ももっと分かりやすいものにしてほしい。	看板の作成方法を統一化し、分かりやすい看板にします。
	山口	排出ルールの徹底のため、研究会みたいなものを作ったらどうか。	みんなで話しあったら、良いものができる。	ごみ減量市民会議の議題にしまして、意見を出し合い、市民目線で作成します。
	山下	ルール違反のごみは、赤いバツのようなものを付けたらどうか。	ルール違反を分かりやすく。	ルール違反シールを新しいもの変更します。
	高部	ごみステーションは、なるべく対象件数が少ない小さなステーションが良い。大きいとルール違反が多い。	大きいごみステーションは、ルールを守らない人が多い。	大きなごみステーションは、自治会に提案しまして、細分化を推進します。
	大谷	ごみの分別など分からないことがあったら、広報紙やホームページなど、いろいろなバリエーションが必要	多種多様に方法で、ごみの分別方法が分かるようにしたらどうか。	ごみ資源物の出し方のガイドブックを作成し、27年3月に全世帯配付します。広報紙やホームページにも掲載します。
	大谷	小型家電回収は、積極的にやっていってほしい。		平成27年1月6日より市内8箇所に小型家電回収ボックスを設置し、回収します。広報紙やイベントでもPRします。
	豊田	おしゃれなキエーロを作成したり、フォトコンテストを実施したらどうか。	若い人が飛びつくようなものにしてほしい。現在のものは、おしゃれではない。	よりキエーロを魅力的にするため、フォトコンテスト開催を検討します。
	豊田	ごみ袋に名前を書いたらどうか	他市でもやっているため、検討したらどうか。	他市の状況を調査し検討します。
	牧野	剪定枝の回収回数を増やしてほしい。	剪定枝や草木の多い時期のみ回収回数を増やしてほしい。	多くのステーションでは、剪定枝等は、それほど多くないため、現行どおりで実施します。
	田代	環境センターでごみに関係する新聞を作成してほしい。		広報紙等で積極的にPRしていきます。定期的に特集を組んで掲載します。
	近藤	資源ごみの売却益が出たら、自治会や子ども会に補填してほしい。	自治会は、ごみステーション等の借地代がかかる。維持管理の人のために、自治会のお金を管理員に支払っている地区もある。集団回収は、以前の4割となっているため、市で補填してほしい。古紙回収拠点や民間のホームセンターでの回収があるため、子ども会等の回収量が減っている。	飲料水缶のアルミ缶は、高い値段で売却できることから、アルミ缶回収等を実施していただくよう依頼します。
	田内	子ども会の集団回収の回収量が減ったため、活動費がなくなり、市の方で補填してほしいのは、別の機関で検討していただく方が良い。	ごみに対して言うのは筋が違うのではないかな。	子ども会から、正式に要望があれば、担当課との調整します。
	山口	ごみ減量の目標を明確化してほしい。広報紙という市民に対して目標を載せたり、結果も掲載する。	ごみ減量の目標、減量方法の紹介、減った理由や結果を広報する。見える化をして、市民に関心を持っていただく必要がある。結果が良かったら市民を誉めてほしい。ごみの情報が少ない。数値を公表してほしい。	広報紙や説明会等で公表します。ごみが減ったり増えたり、問題等起こった場合など、随時、広報紙等で情報発信します。

